

# サムライクラウド部会 活動報告及び活動計画

部会長  
野元 恒志

# 2019年度の部内発表・主な議題

## <発表>

- 二要素認証のベストプラクティスFIDO WebAuthn (NCWG大阪会合プロキューブ 中川路さん)
- hive-beuilderによるdockerコンテナの自動環境構築プログラム (プロキューブ 中川路さん)

## <議論>

- 大規模障害に関して
- プライベートクラウドのマルチAZ
- ソフトウェア開発生産性に関して
- プログラマブルネットワークに関して
- ゼロトラストセキュリティ
- DNS over HTTPS
- netbox

## 活動実績

サムライクラウド部会 月一回 全11回開催

# サムライクラウド2020年度の活動

- SAML、OpenSocialをベースとしたビジネス活用のための研究開発の続行
- MicroServiceの利用研究
- SAML、Oauthなどの認証基盤の具体的利用例や、サービスに関する評価議論
- 将来の認証技術に関する最新テクノロジー評価

ニッポンクラウドワーキンググループ

# クラウドアプリケーション部会

部会長 尾鷲 彰一

# クラウドアプリケーション部会について

今やクラウドサービスの利用は個人レベルまで浸透してきております。例えば、Facebookや、Googleなど、数多くのクラウドサービスが展開されています。

昨今では、クラウドの利用は、クラウドサービスとスマートデバイスや、他のハードウェアとの連携など、いわゆるIoT、AIへと発展しています。

クラウドアプリケーション部会では、そういったクラウド関連の最新の技術の調査や検証から、実際にアプリケーションを開発するまでを行い、そこで得たノウハウを参加メンバー各社、また会合での成果発表などを通し、NCWVGに参加しているみなさん各社のサービスに活用できるアウトプットを提供していきます。



# クラウドアプリケーション部会 2019年度活動実績

## 【テーマ】

IoTを本気(マジ)で使ってみる！

## 【活動内容】

- ・実際にIoTをフィールドに設置し検証を実施する

## 【活動結果】

- ・年4回開催しました。
- ・Di-Nextさん本社にLoRaゲートウェイを設置させてもらいLoRaの通信距離を歩いて確認しました。
- ・雨量センサー、雷センサーを用いたゲリラ豪雨発見デバイスを開発(中)しています。



# 転倒ます雨量計で、雨量データをセンシング



# クラウドアプリケーション部会 2019年度活動実績

ディーアイ・ネクストさんに会場を提供いただき、予定通り以下、4回開催いたしました。

**第19回 7月29日 活動内容についての認識合わせ**  
2019年度の活動内容について、認識合わせをいたしました。

**第20回 8月29日 LoRaWAN The Things Networkを知る**  
実際にThe Things Networkを用い、LoRaWANの環境を構築しました。

**第21回 9月27日 雨量計、雷センサーデバイス開発着手**  
転倒ます雨量計、および雷センサーデバイスの開発を開始しました。

**第22回 10月28日 雨量計、雷センサーデバイス開発**  
引き続き転倒ます雨量計、および雷センサーデバイスの開発。  
LoRaの通信距離を体感するために、デバイスをもって歩いてみました。

# クラウドアプリケーション部会 2020年度活動計画

## 【テーマ】

続！IoTを本気(マジ)で使ってみる！

## 【活動内容】

- ・転倒ます雨量センサー、雷センサーを設置し、ゲリラ豪雨を予測する。
- ・梅雨時期から、夏場にかけて、データを取得し検証予定

## 【活動回数】

- ・年5回予定  
※3月、5月、6月、8月、9月を予定しています。



# クラウドビジネス推進部会 活動報告及び活動計画

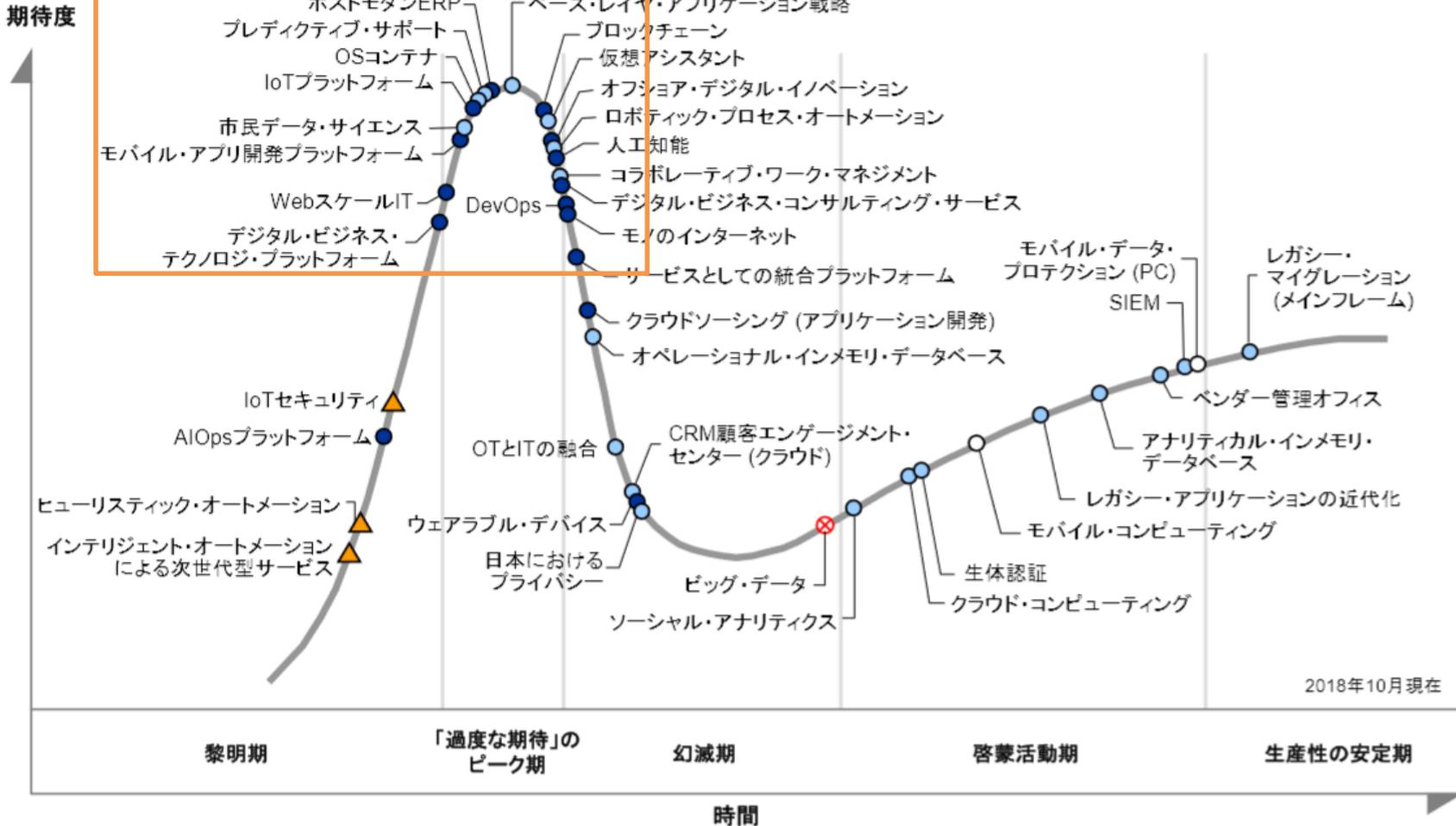
部会長  
藤田 浩之

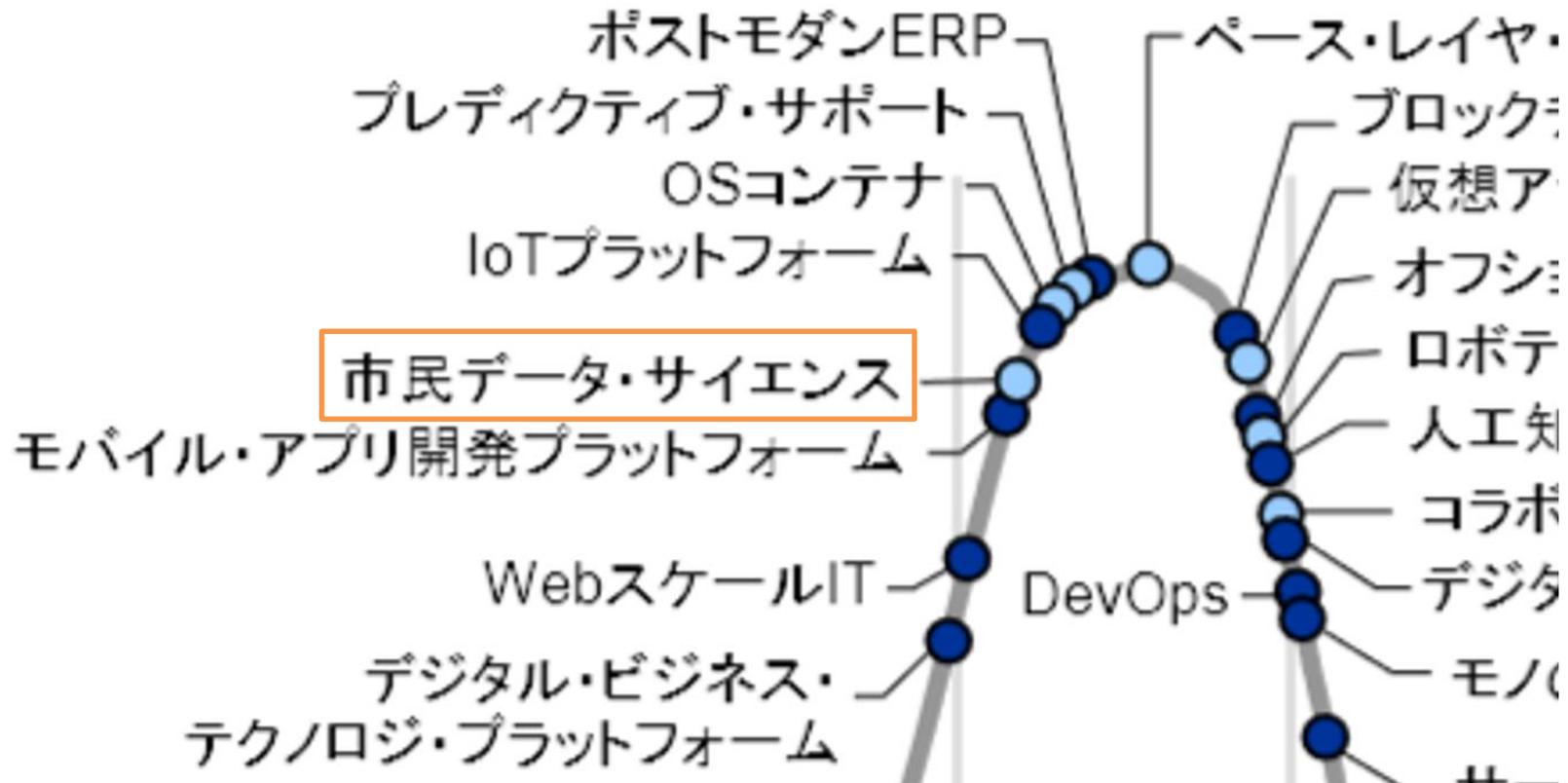
# ■クラウドビジネス推進部会 活動指針

## <目的>

1. クラウドを利活用してビジネスに繋げるための、リアルな情報で語り合う場を提供する
2. 様々な方法で、実際のクラウドビジネス創出を促進する
3. “ニッポン”発のクラウドビジネス(サムライクラウド)の発展に繋げる

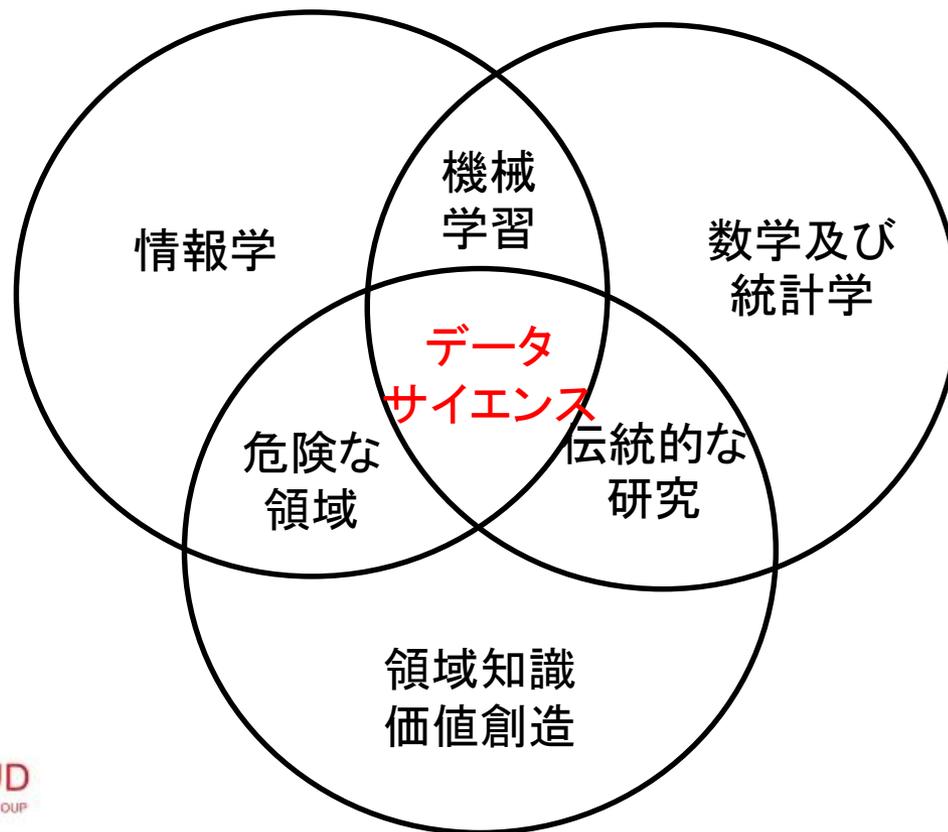
# 前期部会 勉強会テーマ 『シチズンデータサイエンス』





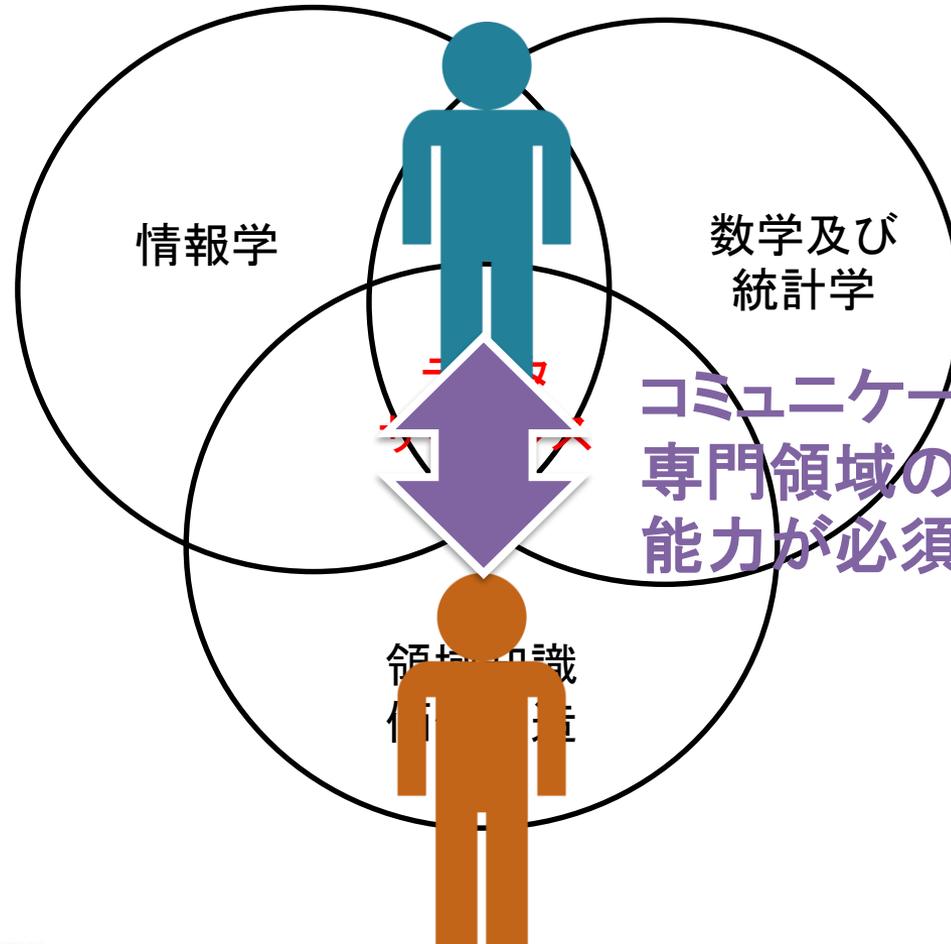
# データサイエンティスト

データサイエンティストの3つの要素  
データ処理、データ分析、**価値創造**



# データサイエンティスト

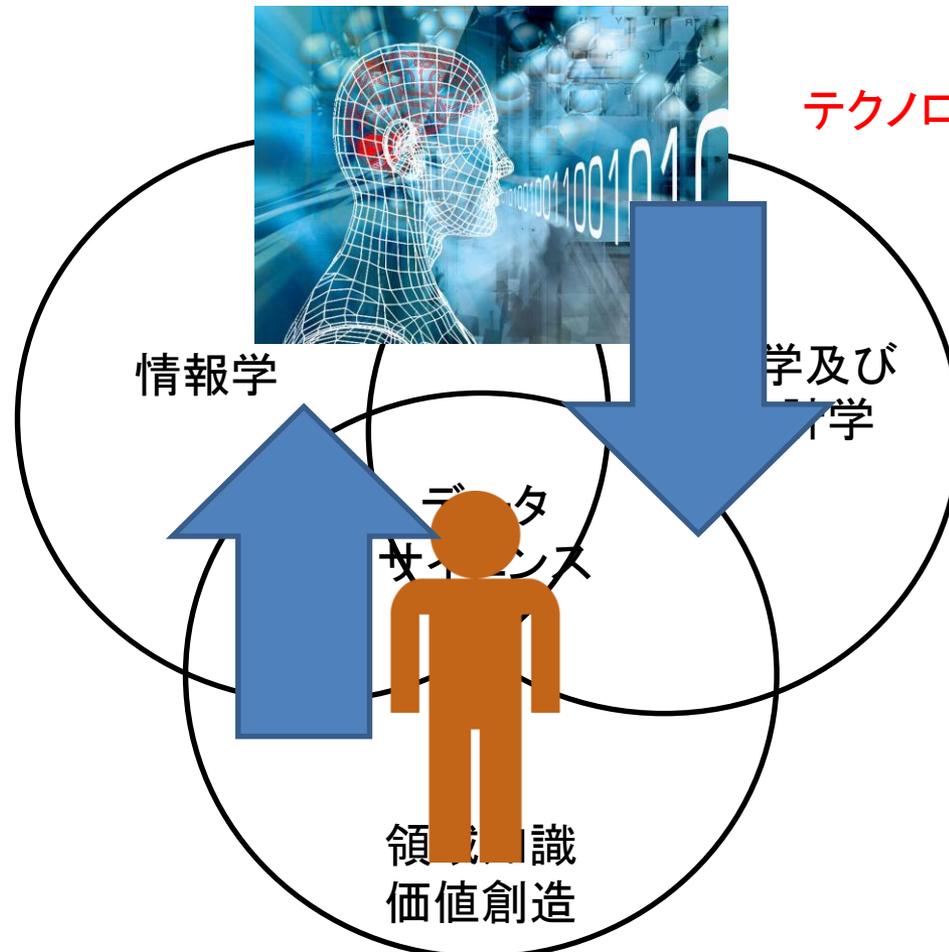
データサイエンティスト



コミュニケーション力により、  
専門領域の要素を把握する  
能力が必須

ビジネスパーソン

# シチズンデータサイエンティスト



ビジネスパーソン &  
シチズンデータサイエンティスト

# 推薦図書

## ★勉強会推薦図書★

『データサイエンス入門』(岩波新書)

竹村 彰通 著

第1章:ビッグデータの時代

第2章:データとは何か？

1. 定義と種類
2. データのコストと価値
3. ばらつきと分布
4. 相関と因果、回帰
5. データに基づく意思決定と不確定性
6. 取り扱い上の倫理

第3章: データに語らせる



岩波新書  
1713

# オンライン参考教材

## 『社会人のためのデータサイエンス入門・演習（総務省統計局）』

<https://gacco.org/stat-japan/>

<https://gacco.org/>



データサイエンス・オンライン講座

### 社会人のための データサイエンス入門

受講料  
無料



「データサイエンス」の概念を理解し、活用できる人材が  
ビジネスのあらゆる現場で求められています。  
統計学のプロフェッショナルがわかりやすく解説する講座を  
あなたも受講してみませんか？

# 今期部会メインテーマ 『クラウドビジネスに役立つクラウドサービスの研究』

# 目標

クラウドビジネスに有用なクラウドサービスを調査・比較し、体系的にまとめ、成果として、クラウドビジネスに即利活用可能なテンプレート化を目指す！

**是非部会にご参加ください！**

# クラウドサービス部会

令和1年11月8日

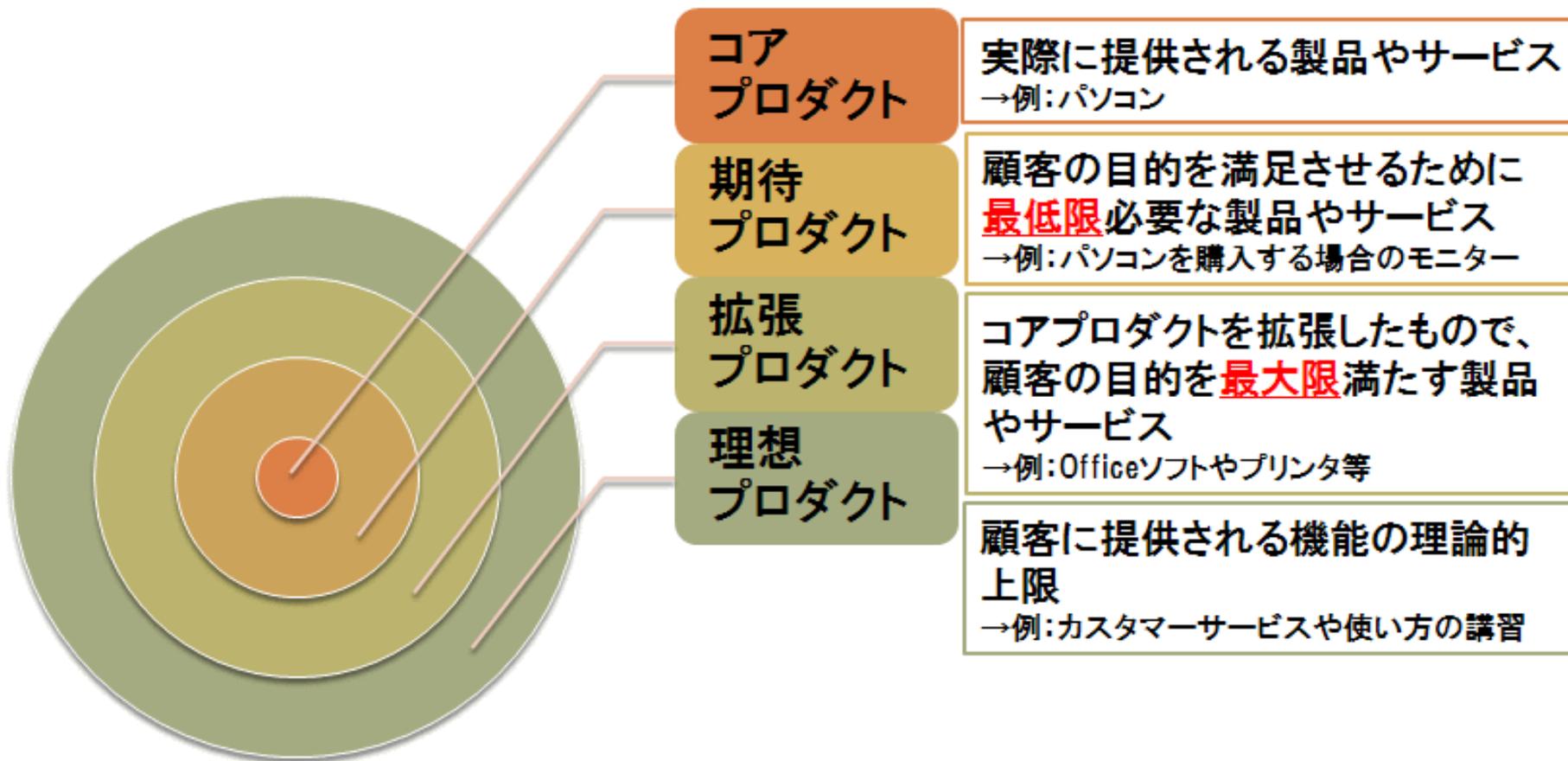
ニッポンクラウドワーキンググループ

# 初めに いまさらだけど

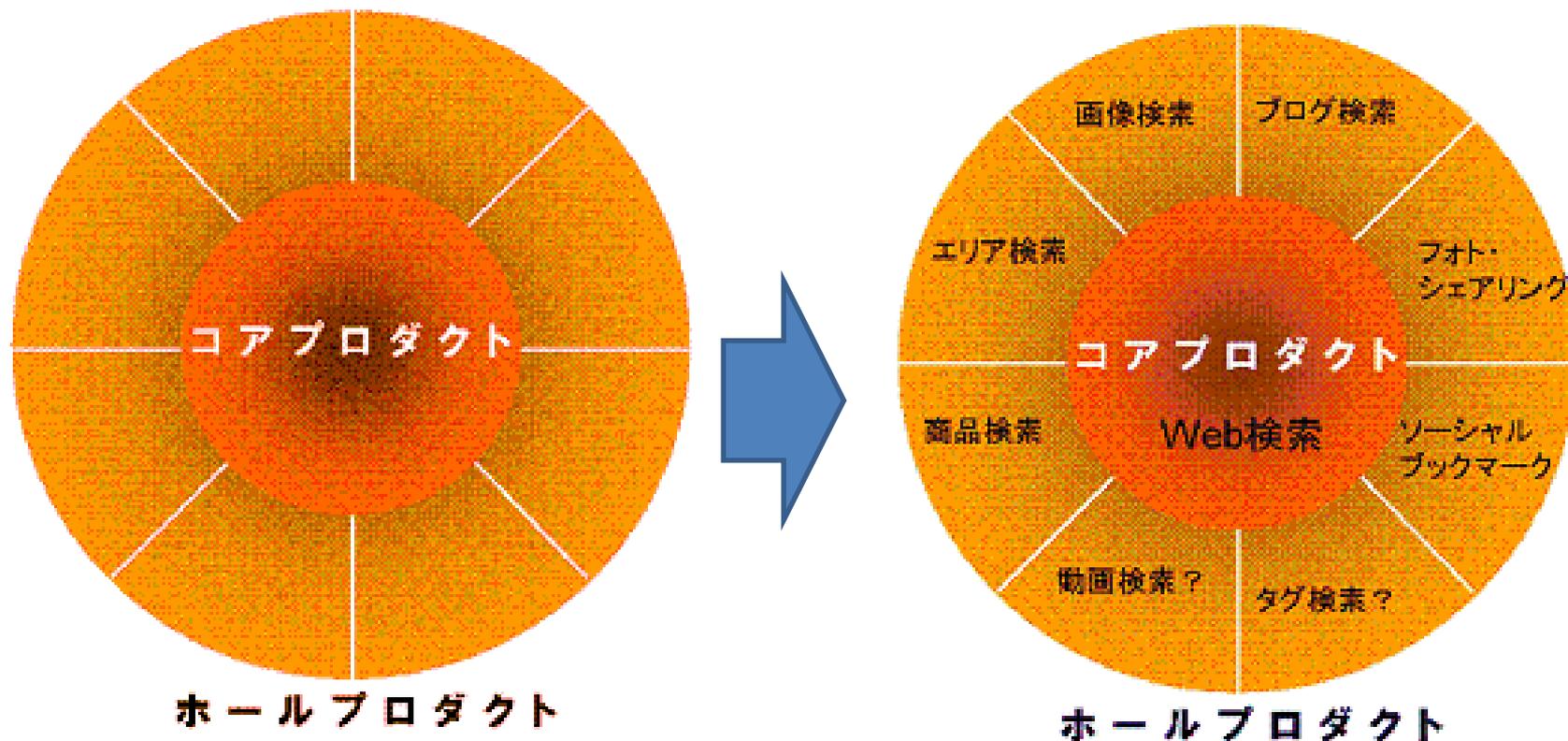
- クラウドサービスの定義  
『インターネットを介して利用する経済的な価値提供機能』（NCWGクラウドサービス部会として）
- セオドア・レベットのホールプロダクトとは  
顧客の**期待**と**現実**を埋めるための補完的なプロダクトを使ったサービス戦略！

クラウドサービス部会では、セオドア・レベットの『ホールプロダクト』の概念を軸に、クラウドサービスを多くの顧客に利用してもらうためには、「備えるべき機能や特徴とは何なのか」を技術的な側面ではなく「サービス」と「クラウド(サムライクラウド)」の視点から考察し、また参加メンバーからサービス視点での発表を行っています。

# セオドア・レベットのホールプロダクト概念

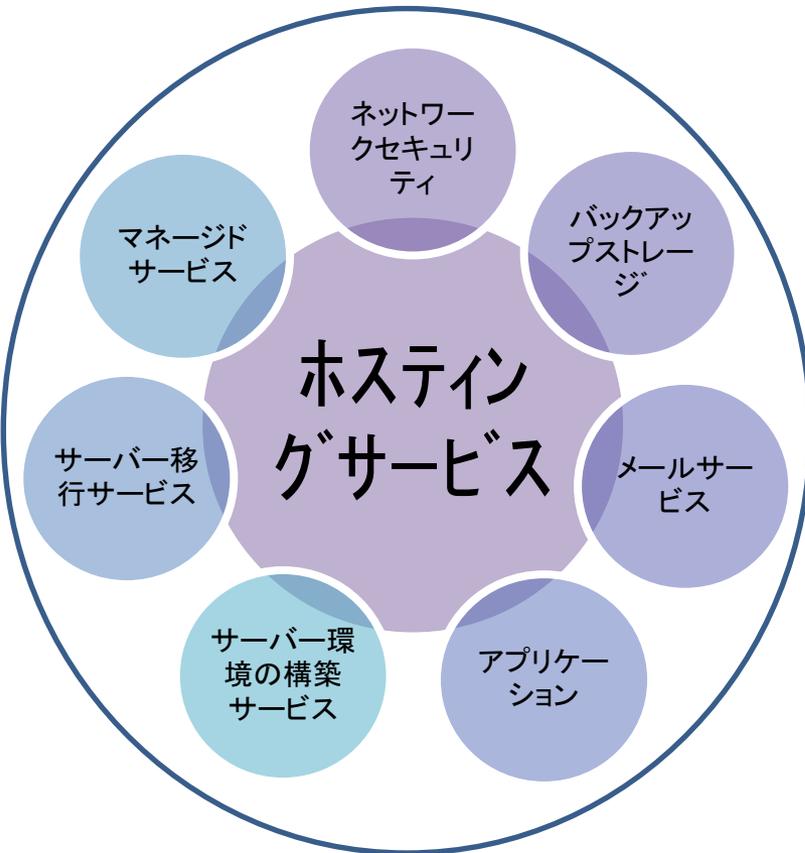


# Web検索をコアプロダクトと見立てた場合



顧客の期待と現実を埋めることが最大の目的！

## 顧客の期待と現実を埋めるプロダクトやサービスとは！



### コアプロダクト:

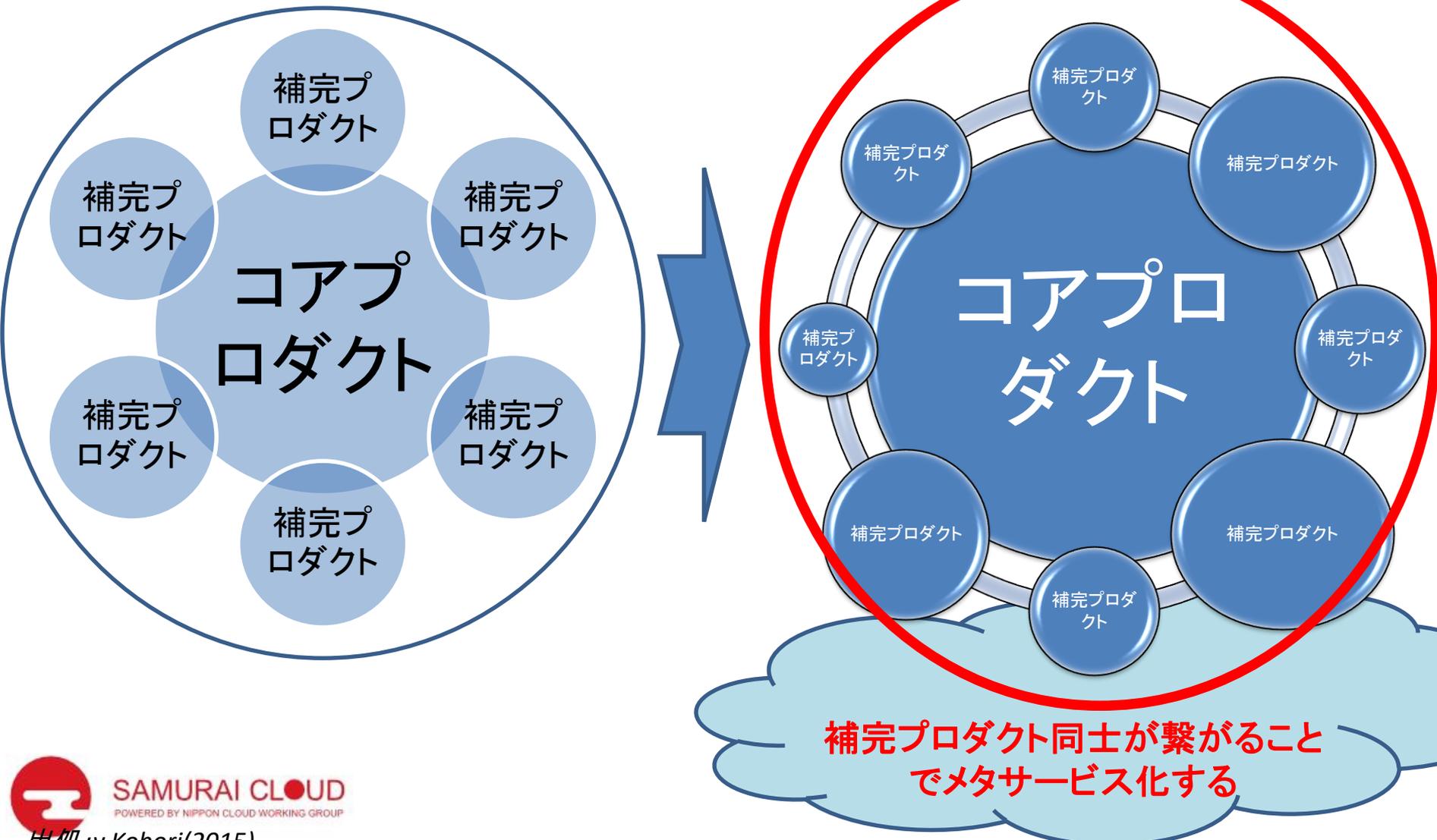
ホスティングやレンタルサーバーをコアプロダクトとして想定した場合

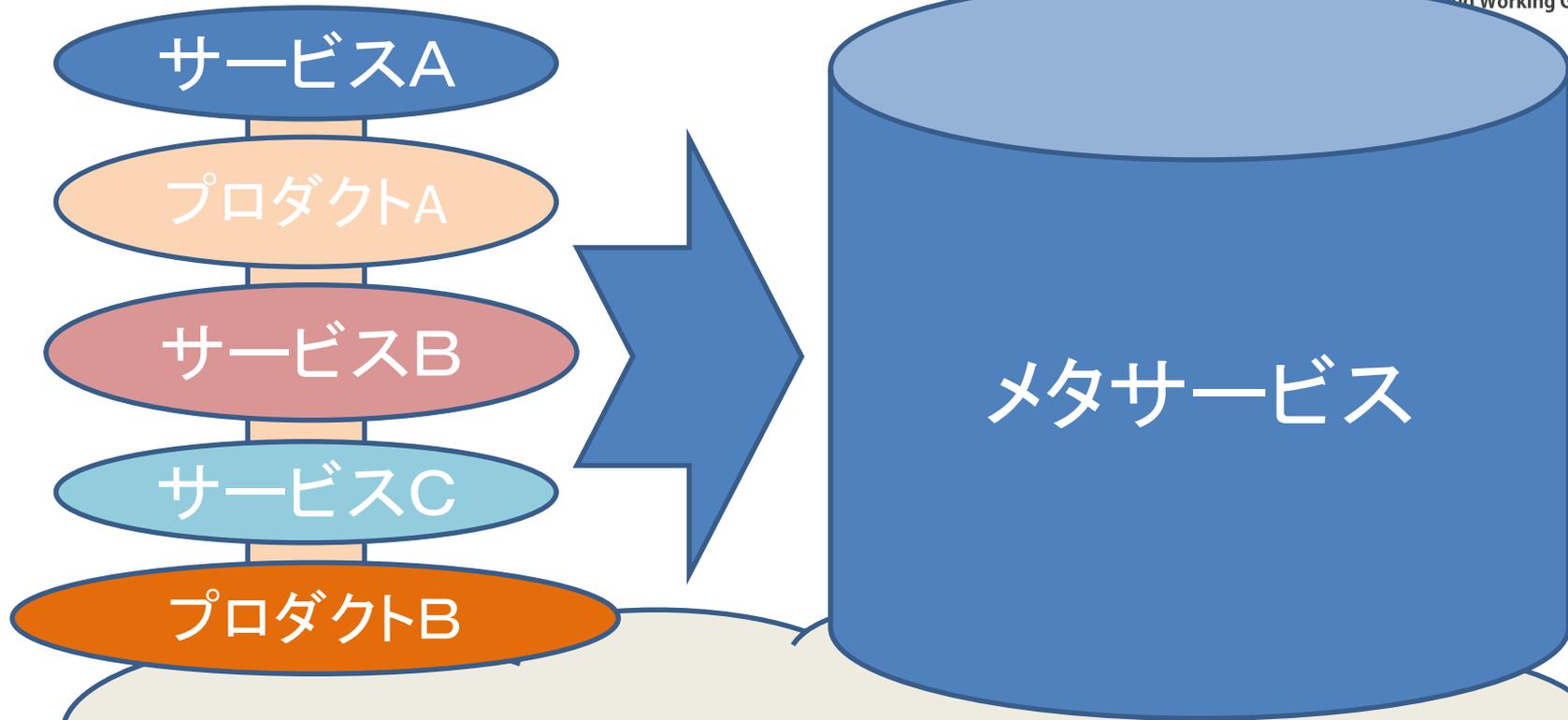
**期待プロダクト:** 顧客の目的を満足させるために最低限必要なプロダクトやサービス

**拡張プロダクト:** コアプロダクトを拡張したもので、顧客の目的を最大限満たすプロダクトやサービス

**理想プロダクト:** 顧客の求めと、提供される機能の理論上の上限

# 顧客の期待と現実を埋めるプロダクトやサービスとは！



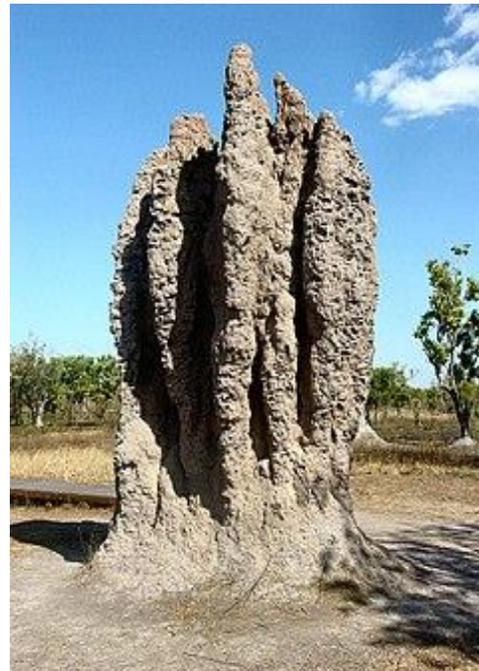
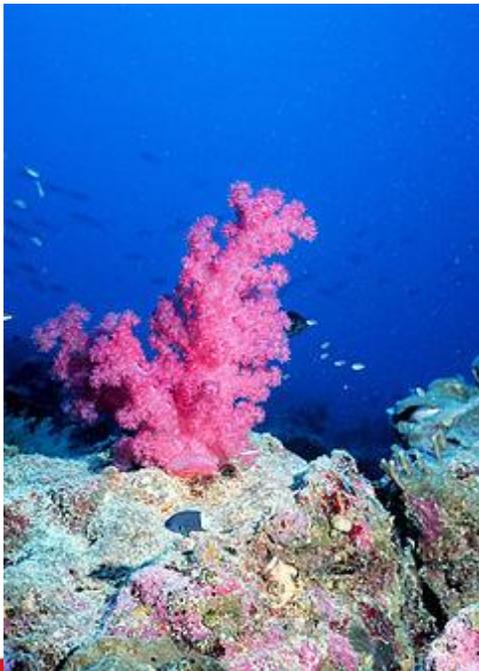


メタ的なサービス化ができる面白い！

**Service as a Service**

さらに**メタサービス**の考え方を  
深めるために  
生物学をアナロジーに  
メタサービスを検討してみる！

**超個体** (superorganism) とは、多数の個体から形成され、まるで一つの個体であるかのように振る舞う生物の集団のことである。通常、同種で構成される個体群やコロニーをさすが、異種集団を超個体と見なすこともある。



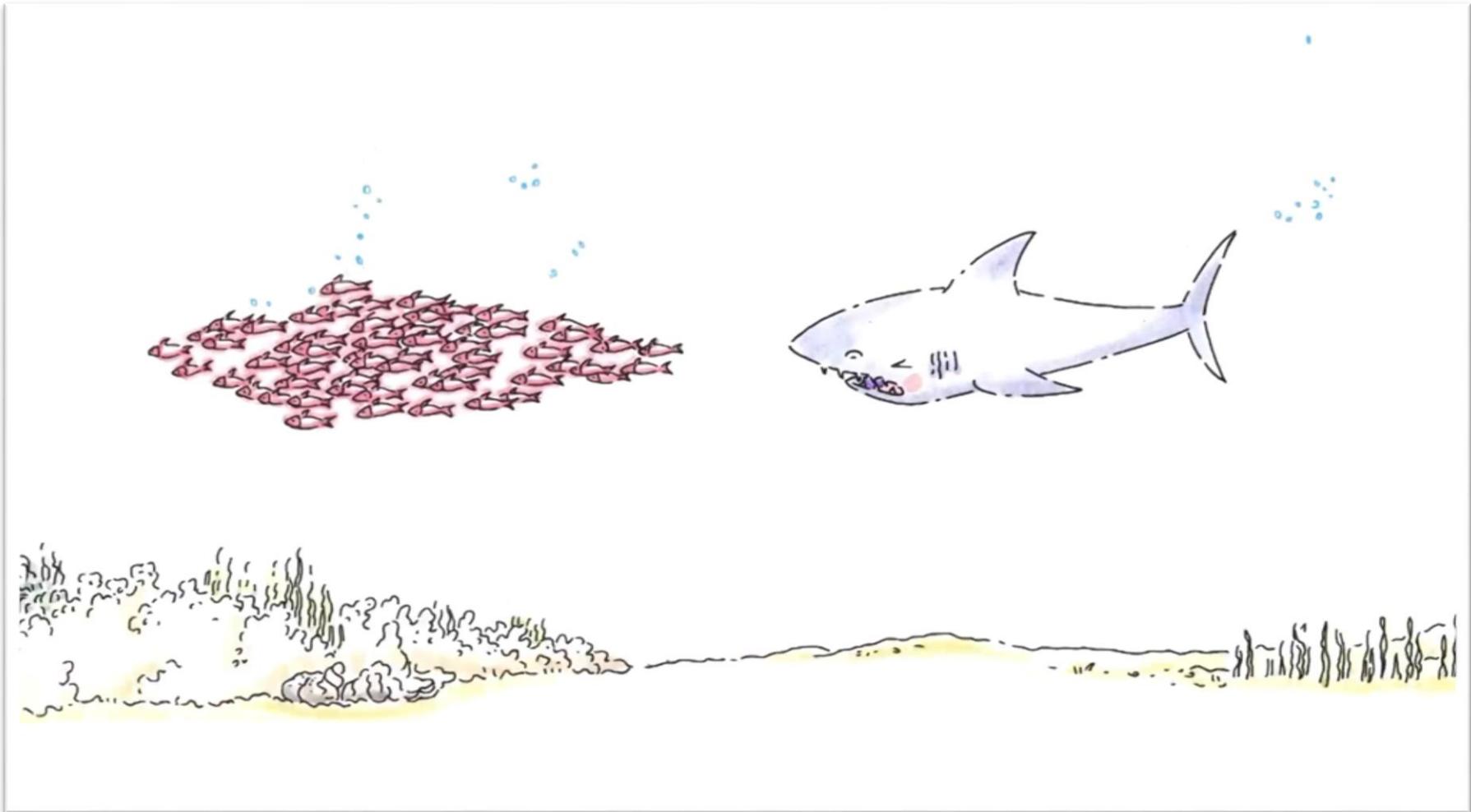
限定的な知能と情報しか持たない個体が多数集まって、個体の能力を超えた大きなことを成し遂げるものとされる。

# ゴンズイ型

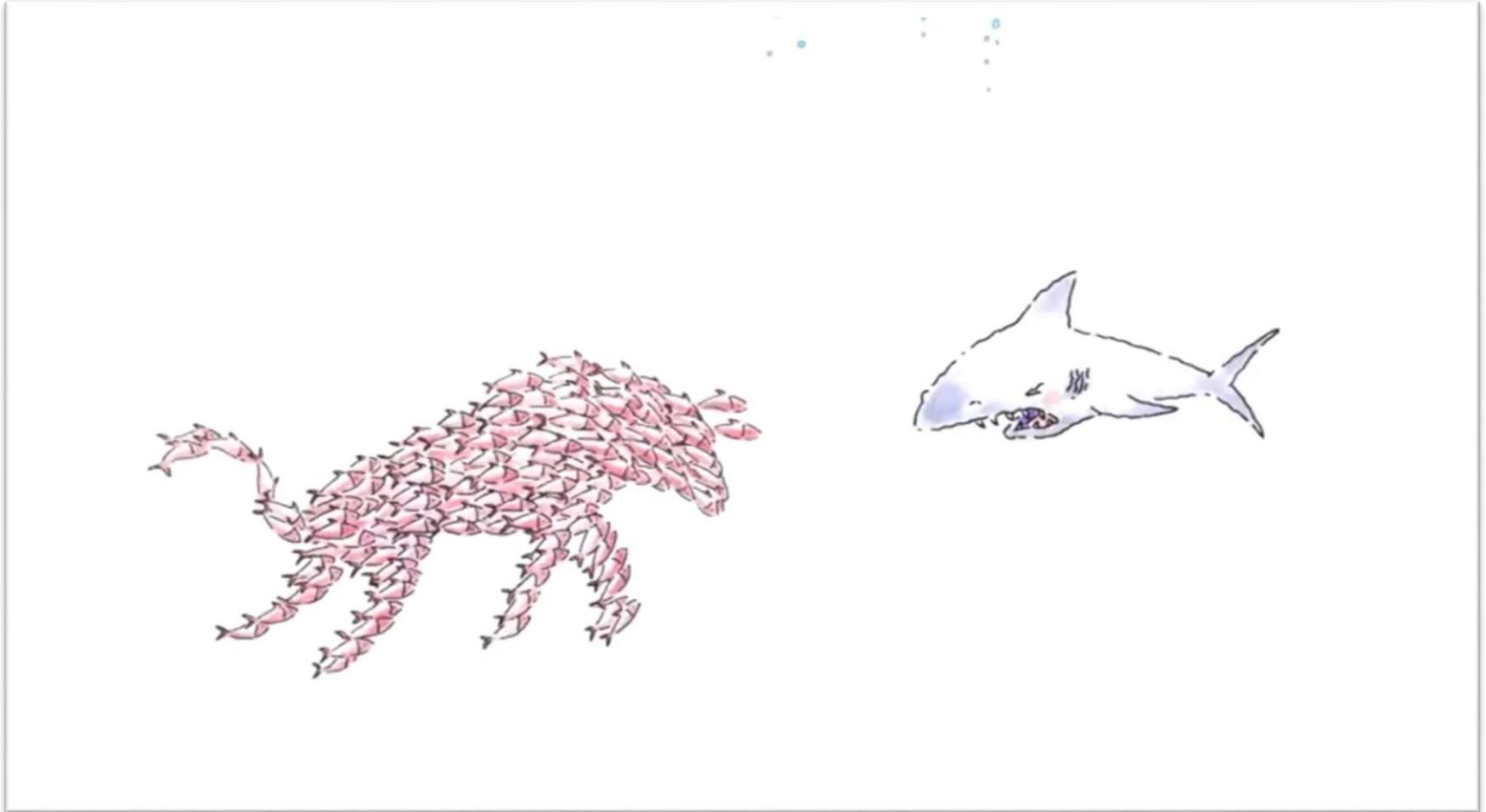


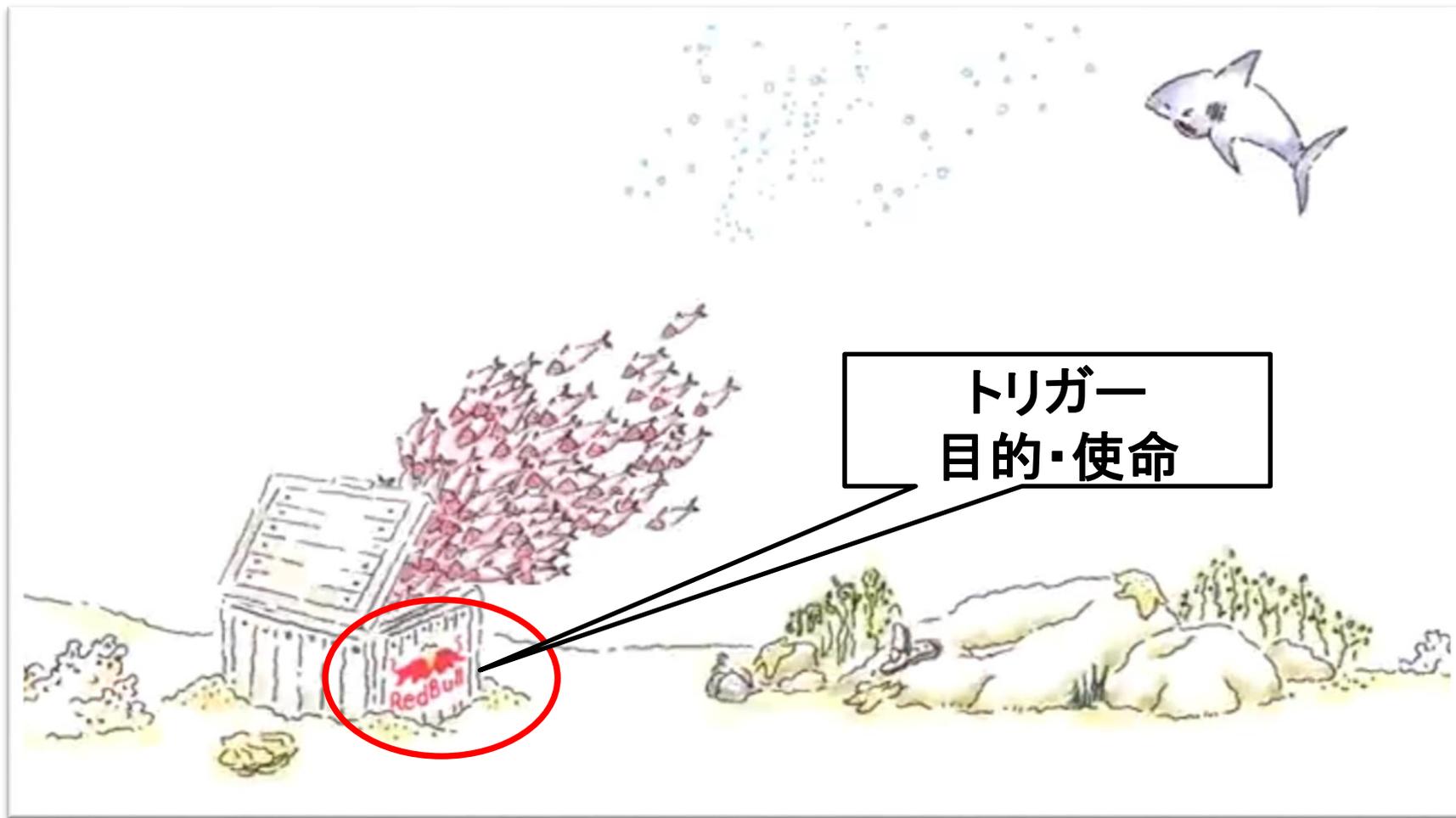
最大の目的は  
、  
捕食者から逃  
れること！

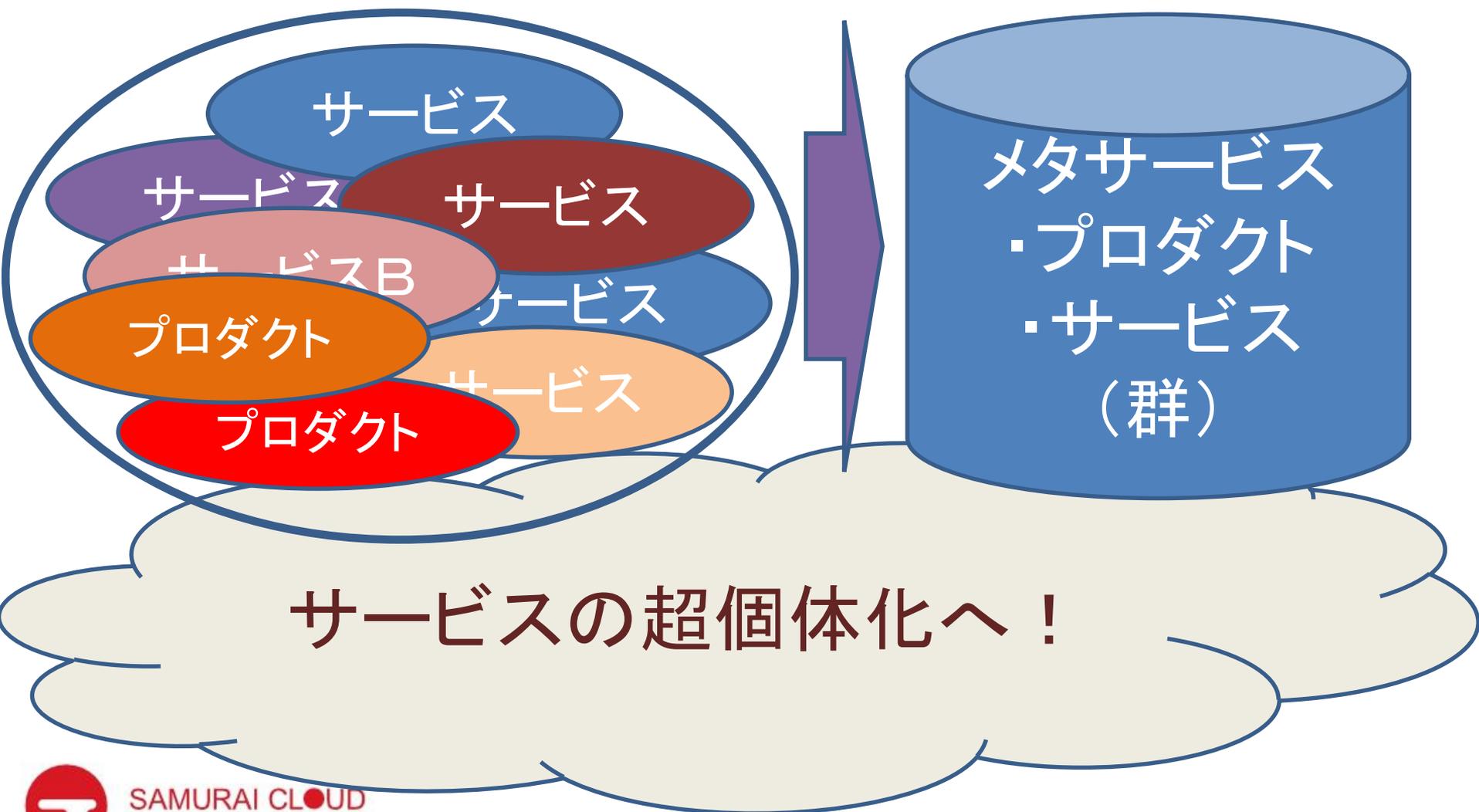
この手のサー  
ビス群や協業  
形態は、ダメ！



ゴングイ型では、決してこんなことは、起きない！







サービスの超個別化へ！

# 2020年度 クラウドサービス部会

# 「宇宙ビジネス」について

- 参入ハードルの高さを感じる
- 宇宙＝ロケットのイメージが強い
- 実感が持てない

宇宙ビジネスに関わろう！！

# 宇宙クラウドサービス部会 へ部会名の変更

# 宇宙クラウドサービス部会

千葉工業大学東京スカイツリータウン®キャンパス  
「はやぶさ2」プロジェクトなどの視察



# 部会開催

2019年12月又は2020年1月を予定